

# 【食品化学新聞】

## 2011年3月24日号に掲載されました

畜肉用  
ゲル化剤

### 「CC-50F」本格販売

### スライス効率が大幅アップ

マリン・サイエンス

マリン・サイエンスは、畜肉加工用の耐塩性ゲル化剤「CC-50F」の本格販売を開始した。耐熱性や高い強度を有するカシアガムとカラギーナンを主原料に塩化カリウムを配合したゲル化剤製剤で、スライス適性が高いことからスライスハムへの応用で最大の効果を発揮する。特に、これまでハム用途で使用されているゲル化剤と比べてスライスする際の温度調整の必要がないた

め、従来品よりもハンドリングが向上していることが特長だ。

CC-50Fは、パートナーシップを強める韓国・MSC社製品で、耐塩性をはじめ高強度や粘弾性、溶解性のほか、耐熱

性や耐酸性に優れるゲル化剤製剤として市場に投入された。耐塩性が高く、食塩濃度が2%であっても強度が保たれている。また本来、カシアガムは溶けにくい物性となるが、製剤化したことに

より60℃程度で溶解するなどハンドリングは非常に高い。

さらに、非常に高い強度を持つことから、配合量は通常のゲル化剤と比べて半分以下で効果を発揮する。また製品は200メッシュパスの微粒子となるため、インジェクションの目詰まりの心配もない。マリン・サイエンスでは、ローカストビーンガムに勝るカシアガムの粘弾性による食感の付与に加えて、スライス性の改善を武器にワークを進め、マーケットにおける影響力を強めていく考えだ。